

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	経営研究所
評価基準 8	社会連携・社会貢献
点検・評価項目(2)	8-2 教育研究の成果を適切に社会に還元しているか。
評価の視点	教育研究の成果を基にした社会へのサービス活動
	学外組織との連携協力による教育研究の推進
	地域交流・国際交流事業への積極的参加
点検・評価項目(3)	8-3 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 点検・評価

【点検・評価項目ごとの現状説明】

8-2	<p>研究所の「社会連携・社会貢献」事業として、本年度はシンポジウム（「国際交流事業」に関連）を開催し、教育研究事業の社会への還元を果たすとともに、学外組織との「地域交流」事業を積極的に展開し、今後の「学外組織との連携協力による教育研究」を推進するための基盤を整備した。</p> <p>昨年度は、「学外組織との連携協力による教育研究」活動の契機となったのは、2013 年 11 月に「アジア市場と日本の国際連携戦略」というテーマで開催されたシンポジウムである。このシンポジウムを契機に板橋区内の関係者などとの交流を深め、地域連携事業をさらに推進することができた。具体的には、2013 年度はシンポジウムを契機に、板橋区企業活性化センター、東京商工会議所板橋支部、板橋区中小企業診断士会など区内の学外組織との交流を深め、地域連携事業の基盤となる地域とのネットワークの強化に取り組んだ。特に、板橋区中小企業診断士会とは定期的な会合の機会を重ね、地域課題への取り組み、地域企業に関する調査研究、特定テーマに関する共同研究などの研究事業も検討している。</p> <p>このように、2013 年度は「国際交流事業」としてシンポジウムを開催し、教育研究事業の社会への還元を果たすとともに、板橋区内の学外組織との継続的な地域交流事業を展開することにより、「社会連携・社会貢献」活動に関しては一定の成果がみられたといえる。</p>
8-3	<p>「社会連携・社会貢献」活動の実施に当たっては、各年度の「事業計画」に盛り込み、運営委員会（「規程」第 12 条）、研究部会（「規程」第 10 条）での審議・決定を経て、所長の統括（「規程」第 5 条）の下に運営されており、その適切性は定期的に検証されている。また、研究所内で事業活動を適切に遂行するために、専任研究員からアンケートを実施しており、事業活動に関する研究所内での合意形成はなされていると考える。</p>

【効果が上がっている事項】

8-2	<p>研究所では「地域連携活動の推進」を重点課題とし、地域（学外組織）との継続的な関係を構築することにより、当面は、地域連携によるネットワークの強化を図り、学外組織との研究・教育体制を整備することを目指している。</p> <p>本年度は板橋区内の学外組織（板橋区企業活性化センター、東京商工会議所板橋支部、板橋区中小企業診断士会など）との積極的な交流を行い、地域連携活動に関しては一定の成果を果たしたと考える。</p>
8-3	

【改善すべき事項】

8-2	<p>産官学の地域連携事業をさらに効果的に推進するために、板橋区以外にも先進的なモデルとなる大学及び行政機関への視察を行うことが必要である。</p>
8-3	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

シンポジウムのパンフレット、「大東文化大学経営研究所規程」

《指標データ》

なし

III 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価				
			2014	2015	2016	2017	2018
中期目標 (2014～ 2018)	8-2 研究プロジェクトの推進（アジア関連企業に関する研究など）と地域連携・交流事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学外組織との定期的な交流事業 講演会、シンポジウム、研究会などの開催 共同研究を実施し、報告書、ブックレ 					

学部附置研究所

		ット、リサーチペーパーなどでの成果報告
14年度 目標	8-2 研究活動や地域連携事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・外部組織（板橋区周辺組織など）との定期的な交流活動（研究会、ヒアリング、調査研究など）の実施 ・講演会、シンポジウムなどの開催（共同開催、後援・協力・支援などを含む）

→ A				